

地域全体で
子どもを見守る



子どもたちの安全を守ることは、家庭や学校だけでは限界があります。未来をつくる子どもたちを守るには、地域全体で安全対策に取り組む必要があります。

私たちが簡単にできる防犯対策のひとつに、近所の子どもたちに「あいさつ」などの「声かけ」をすることがあります。何気ない日常的な行動ですが、このことで、「この地域にはいつも誰かの目がある」という雰囲気をつくりだす事になり、不審者を寄せ付けない環境になります。

「何か起きていないか」と意識して見なくても、自然に

見守ることが、まちから死角をなくすことになります。地域に愛着を持ち、地域ぐるみで子どもたちを見守る目になりましょう。

実際にあった声かけ事
案と住民の協力

3月30日の午後、七尾市中島町地内において、男3名が車の窓から下校途中の中学生女子2名に対し、「雪降つとるね。寒くないか。」「中島でおもしろいところないけ。車に乗らんか。名前は。」と声をかけた。

その状況を付近住民が目撃し、中学生に「顔見知りか。」と尋ねたところ、車はそのまま走り去った。

その後、車のナンバーなどの目撃情報から行為者が特定され、七尾警察署において口頭による嚴重注意処分がされた。



近所の子どもたちを
気にかけて！

こんな日常のことも
子どもたちを守る
ことができます。

- ・気軽にあいさつを交す。
- ・子どもたちの遊び場を通りかかったら、不審者がいないか目配りする。
- ・人目につきにくいところで遊んでいる子どもがいたら、他の場所へ遊ぶように注意する。
- ・見慣れない人と歩いていたり、話したりしている子どもを見たら、声をかける。



※親切心からでも、知らない子どもに声をかけると不審者に見られることがあります。誤解を受けないように、近所の保護者や子どもたちと顔見知りになることが大切です。

子どもたちを見守る「自主防犯ボランティア団体」

市内には26の「自主防犯ボランティア団体」があり、各地域で子どもたちが安全に安心して生活できるように交通安全や不審者対策のパトロールなどの活動を行っています。



守ろう中島っ子サポート隊
中島地区、熊野の方々

1番の防犯は1人ではなくグループ
いることです！

守ろう中島っ子サポート隊（中島地区、熊野）

私たち熊野地区では、10人で下校時に「見守り」や「声かけ」、「交通安全指導」をしています。2月から毎日行なっているのです、今では熊野地区の子どもの顔と名前は全部覚えていきます。子どもたちも「ただいま」と元気にあいさつをしてきています。

その姿は、自分の子や孫のようで、帰りが遅いときは心配で探しに行くこともありま

す。 私たちは、できるだけ子どもたちを守るように心がけていますが、一番の防犯は「子どもたちが一人ではなくグループでいること」です。

私たちも、全員が毎日、元気に帰ってこれるようこれからも頑張ります。

みなさんも子どもたちの安全にご協力ください。